

夢見凧の未然防止手法 クール・メジャーズ



夢見凧™

保科修一 著

ぴくはりさーち

はじめに ～ 未然防止とは

未然防止は事故や災害の影響を低減するため、「もの」や「こと」に織り込むものである。組織の未然防止を支援するため、考え方と進め方をまとめた指針がクール・メジャーズである。

1. 未然防止とは、何も起きていないことの原因を明確に説明できること

→ 意味あるゼロとたまたまゼロには、雲泥の差がある

2. 未然防止とは、何も起こさないように設計者が密かに闘っていること

→ 企画設計における設計者の不断の努力に、敬意を払う

3. 未然防止とは、暗黙知から類推して照合する形式知から生まれるもの

→ 気づきを文書化し、別の気づきで活用していく

4. 未然防止とは、効率性と経済性のものさしにより可否を判定するもの

→ 当初の目的を果たすものは、安くても良いものである

もちろん、事故や災害が発生した際に原因を分析して講じた対策は未然防止とはいえないが、過去の原因と対策を引用し、「もの」や「こと」に織り込むことは未然防止の一つといえる。

設計者は、担当する「もの」や「こと」に関する基準などにしたがって設計を行うだけでなく、過去の事故や災害に関する原因と対策を引用し、未然防止を適切に織り込むことが求められる。

気づきを文書化して別の気づきで活用するため、8種類の「気づきシート」を紹介している。SECIモデルの気づきの区分（S共同化、E表出化、C連結化、I内面化）に合わせて、「気づきシート」を選択することにより、暗黙知を効果的に形式知化できる。

様式1. 設定書 Aシート	： 課題を設定して解決するまでの気づき	S 共同化
様式2. 構成書 Cシート	： 複数の関係性や接続方向に関する気づき	S 共同化
様式3. 調査書 Eシート	： 調査の目的から考察・結論までの気づき	S 共同化
様式4. 展開書 Dシート	： 要求・機能から構造・成果までの気づき	E 表出化
様式5. 手順書 Pシート	： 手順・役割・規則・記録までの気づき	E 表出化
様式6. 進行書 Sシート	： 課題と段階・時期に関する気づき	C 連結化
様式7. 対応書 Tシート	： リスクの評価と対応に関する気づき	C 連結化
様式8. 改善書 Iシート	： 活動の目的から実績・反省までの気づき	I 内面化

目次

はじめに ～ 未然防止とは	2
1. 目的 ～ 英知を生かし、最高の成果を創出する	5
2. 適用範囲	5
3. 用語定義	5
4. 設計開発プロセス	6
5. ナレッジマネジメント	7
6. 設計書	9
7. 報告書	11
8. 検討書	13
9. 標準書	13
10. 設計品質手法	14
11. リスク運用	14
12. 参考文献	16
解説 1. 設計開発体系	17
解説 2. 創造設計手法	18
解説 3. 品質評価ツール	19
解説 4. 失敗回避	20
解説 5. 工程完結	21
解説 6. 進行管理	22
解説 7. 構成管理	23
解説 8. リスクマネジメント	24

ゲシュタルト・アプローチ (Gestalt Approach)	25
アフォーダンス・アプローチ (Affordance Approach)	26
ライヴ・シフト (Live Shift)	27
エルスワイ・アーカイブス (Elsewhy Archives)	28
「気づき」とは英知の架け橋	29
気づきシート 様式 1. 設定書 Aシート	30
気づきシート 様式 2. 構成書 Cシート	32
気づきシート 様式 3. 調査書 Eシート	34
気づきシート 様式 4. 展開書 Dシート	36
気づきシート 様式 5. 手順書 Pシート	38
気づきシート 様式 6. 進行書 Sシート	40
気づきシート 様式 7. 対応書 Tシート	42
気づきシート 様式 8. 改善書 Iシート	44
おわりに ～ 成功の本質	46